

■表 気象要素別災害リスクとその対応策

気象要素	注警報	想定リスク	日頃の準備	対応
大雨	大雨警報 洪水警報 大雨注意報 洪水注意報	●店舗への浸水 ●店舗浸水による店舗什器の汚損 ●販売業務、発注業務、レジ登録業務への支障 ●水害後の衛生環境状態の悪化 ●交通機関のダイヤ乱れによる従業員の通勤困難 ●回線輻輳による発注作業遅延	●自治体が作成するハザードマップを入手し、どのような自然災害リスクがあるかを把握しておく。 ●ダイヤ乱れの発生しやすい交通機関の把握と、実際に混乱が発生した際の代替手段の確認。緊急宿泊先のリストアップ。 ●お客様の避難誘導訓練の定期的な実施。 ●緊急時、近隣店舗で助け合いを行う共助体制の確認。	●最新情報入手 ●最新情報に基づく迅速な対応 ●売上台帳(紙)、小銭の用意 ●汚損廃棄商品の手配 ●店舗周辺道路の清掃
強風	暴風警報 強風注意報 風雨注意報	●交通機関のダイヤ乱れによる従業員の通勤困難 ●店舗周辺ののぼり旗、ダンボールなどの飛散 ●強風による店舗周辺自転車の転倒	●ダイヤ乱れの発生しやすい交通機関の把握と、実際に混乱が発生した際の代替手段の確認。緊急宿泊先のリストアップ。	●店舗周辺の整理整頓 ●自転車置き場のこまめなチェックと整列
雷	雷注意報	●落雷事故の発生 ●停電による電子機器の使用不可及び保存データの消失 ●長時間停電による保温環境悪化	●当地が雷雲が通過しやすいルートにあたるかどうかの把握と、雷雲上流・下流店舗との連絡連携。	●店舗周辺だけでなく、電線上流の地方での雷情報に注意